

2020 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	高原孝生
演習テーマ	戦後日本の国際関係と平和主義
校外実習	2、実施 (実施時期: 2021 年 3 月予定)
メール・アドレス	taka@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	月曜 17:30~19:00 (2019 年度秋学期)
2021 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	ない
授業概要	講読文献や報道記事、映像等を通して、戦後日本の国際関係を規定する敗戦およびその後の「片面講和」と「日米安保」を批判的に理解し、新憲法の規定する平和主義を再評価する。その際、特に沖縄からの視点を重視し、日米関係の重要性をふまえつつ、アジア・太平洋地域に広がる視野を持つようにする。核時代の平和・軍縮の問題との関連も学び、11 月には UC 学生と共に広島で、現地学習をする予定。週末や課外の時間を使って、神奈川の軍事基地や第 5 福竜丸展示館、丸木美術館などを訪問したい。
学習目標	今日の日本の国際関係を考察するために不可欠な知識と視座を身につける。とくに日米安保体制と今日の核大国の対峙状況の脅威を理解するために、沖縄や他国からの視点を得て、日本(東京)の情報バイアスを修正する。
授業計画	毎回、司会・進行、書記、報告者を決め、講読文献を読み進む。折に触れ、首都圏でフィールドトリップもおこなう。
予習	全員が講読文献を読み込み、報告者、司会・進行役はそれぞれの準備を行う。
復習	教員からの指示(宿題)の他、ゼミでの議論を受けて自身の予習を振り返り、あらためて学習したことを再確認する。
授業に関する 注意事項	校外実習に向けた学習も併せおこなうので、毎回二コマ分の時間をかける。必要に応じて英語文献・記事等も読む。
教科書	家永三郎『太平洋戦争』岩波現代文庫、林博文『沖縄戦が問うもの』大月書店
参考書	目取真俊『沖縄「戦後」ゼロ年』NHK出版、他、多数を指示する。
成績評価の 基準	授業の理解をふまえた平常点(授業への参加度 50%および、提出物や発言等にみられる学習による知識等の向上 50%)
関連 URL	
備考	